

事務事業名		産業用地分譲促進事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり				担当組織	担当部	産業文化部	担当課	企業誘致課		
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり				担当係	企業誘致係	担当課長名	中里 勇			
	施策	3 北関東自動車道沿線開発と企業誘致の促進				新規事業・継続事業		新規事業				
	基本事業	2 企業誘致の推進と支援				実施計画事業・一般事業		実施計画事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	10637	一般	7	1	2	産業用地分譲促進事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	26年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市産業用地分譲促進 条例		実施方法		直営		
	事業区分		事業分類		リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		支援事業		該当なし	
	事業区分		市長マニフェスト		3-5							

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
産業用地に立地する企業に対して奨励金を交付することにより、企業の誘致を促進して産業用地の早期の完売を図り、もって本市の産業の振興に寄与することを目的とする。 対象産業用地 佐野田沼インター産業団地、佐野インター産業団地(第2期)、佐野AWS産業団地 ・佐野市民新規雇用促進事業 10万円/人(新規学卒者20万円/人) ・勤労者福利厚生促進事業 入会金及び会費(操業から2年間) ・工場見学促進事業 100万円限度(施設を有する工場等の建屋等整備に要した費用の5%)	奨励金交付企業…なし	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		奨励金交付企業数	件		0	8	10	12

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市内外から対象産業団地へ進出した事業者	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	佐野田沼インター産業団地進出企業数(累計)	社		9	13	13	13
	佐野インター産業団地(第2期)進出企業数(累計)	社		—	—	—	3
	佐野AWS産業団地進出企業数(累計)	社		2	3	4	5

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

対象産業団地の早期の分譲を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	産業団地に進出した企業数(累計・民間造成分含む)	社		11	16	17	21

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

佐野市に企業を誘致し操業してもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	佐野市に進出した企業数(累計)	社		11	6	7	12

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円		16,943		16,943						
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		3,000				38,000			24,960	
	事業費計(A)	千円		0	19,943		16,943		38,000		24,960	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					負担金、補助及び交付金	0	負担金、補助及び交付金	16,943	負担金、補助及び交付金	38,000	負担金、補助及び交付金	24,960
	人件費	人		3		3		3		3		3
	のべ業務時間	時間		100		250		300		300		300
人件費計(B)	千円		0	394		985		1,182		1,182		
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	20,337		17,928		39,182		26,142		

事務事業名	産業用地分譲促進事業	担当部	産業文化部	担当課	企業誘致課	担当係	企業誘致係
-------	------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成22年度に佐野田沼インター周辺開発事業が着手されたことに伴い、平成23年度に佐野市産業用地分譲促進条例が制定され、新しく造成される産業用地の早期分譲を目的とし開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	世界的経済不況により製造業を中心とした生産、需要が落ち込み、経営が厳しく設備投資意欲は低下していた。また円高、電力事情から海外へ拠点を移す企業が増加していたが、アベノミクス効果等により景気回復や生産拠点の国内回帰の兆しがある。また、圏央道が東名、中央、関越とつながり、物流も便利になった。間もなく東北自動車ともつながり、ますます利便性が図られる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会においても企業誘致は注目されており、市議選(H25.4)の新聞社のアンケートでも市が最も力を入れるべき政策として11人の候補者が「産業団地造成・企業誘致」と回答をしている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	企業誘致の推進と立地する企業への支援であり産業振興へ結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	産業振興、雇用の創出、財政基盤の強化のため、市が行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	新しく造成される対象産業団地の早期分譲を図るため、佐野市産業用地分譲促進条例が策定されたもので、この条例にもとづき設定したものである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	事業の成果は、産業団地に立地した企業に奨励金を支給する支援制度であるため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 企業立地支援事業 佐野市企業立地促進条例に基づく事業であり、市の区域内にある産業団地(既存団地含む)の対象エリアとするものであり、産業用地分譲促進事業は、新規工業団地に新設した場合の事業である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	立地企業の計画により事業費が変化するもので、現段階での削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者は新しく造成される産業団地に進出する事業者であり、目的から考えて受益者に負担を求めることはできない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 新しく造成される対象産業団地が完売し、事業がすべて終了となった時。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			